



Ideas & Chemistry

2013.11.05

2013年度第2四半期 決算補足資料



東洋紡株式会社

決算のポイント

上期実績

■ 営業利益、前年同期比48%増

- 工業用はやや回復も、包装用は価格改定が遅れ、フィルム苦戦
- ライフサイエンスの拡大、繊維の回復が増益寄与
- 経営課題である海外展開や新製品拡販も進展

通期予想

- ### ■ 包装用フィルムの収益好転、新製品の拡販等を見込むも、原燃料価格、液晶市場の不透明感もあり、通期利益は据置く。

(億円)

	12年度					13年度				
	1Q		上期	下期	通期	1Q		上期	下期(予)	通期
	1Q	2Q				1Q	2Q			
売上高	831	881	1,711	1,679	3,390	853	892	1,745	1,755	3,500
営業利益	22	54	76	94	171	52	61	113	107	220
当期純利益	5	22	27	49	76	30	22	52	43	95

I . 2013年度第2四半期決算概況

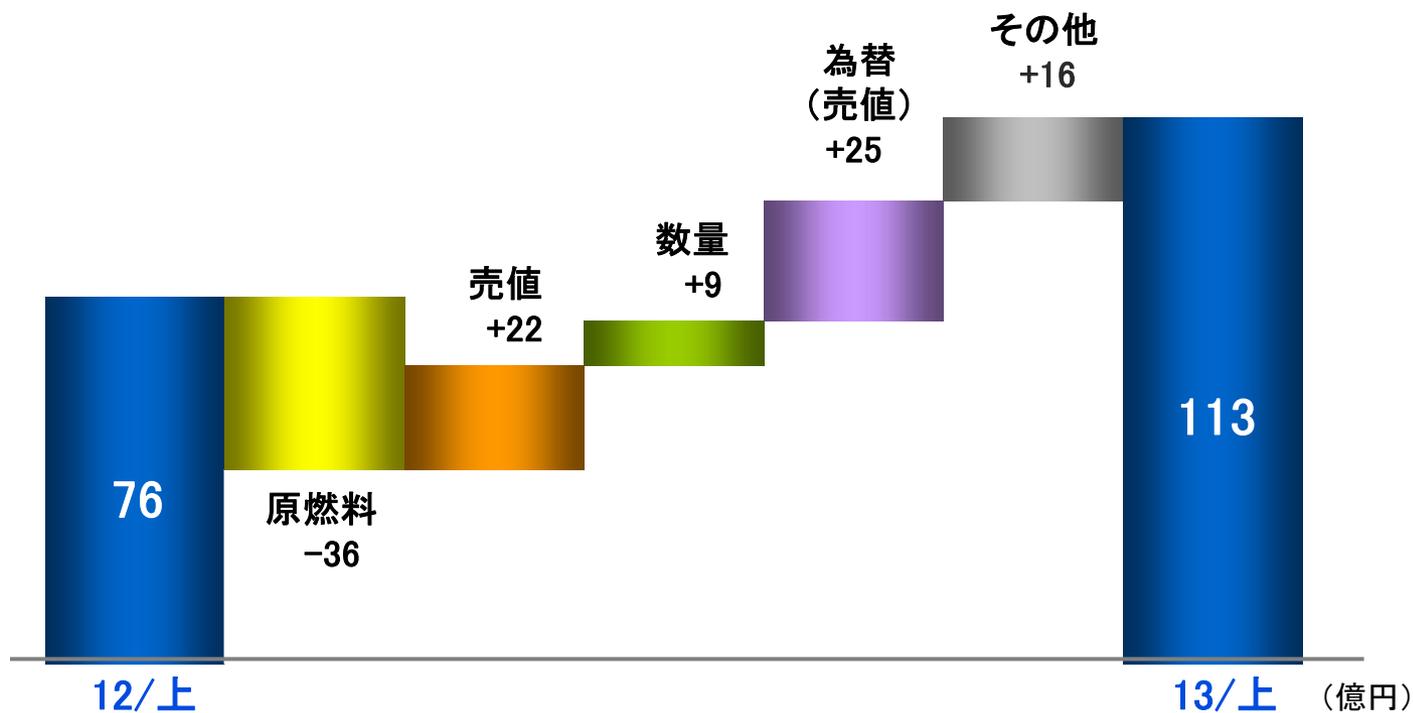
(1) 決算概要 ①PL・CF

(億円)

	12上	12下	13上	前年同期比		直近見通し (2013/8)
				金額	率	
売上高	1,711	1,679	1,745	+34	+2.0%	1,720
営業利益	76	94	113	+36	+47.6%	100
(率)	4.5%	5.6%	6.5%	-	-	
経常利益	65	90	108	+43	+66.5%	90
当期純利益	27	49	52	+25	+90.8%	43
EPS(円)	3.1	5.6	5.8	-	-	4.8
減価償却費	64	68	68	+4	+5.7%	
設備投資	68	112	110	+42	+61.7%	
営業CF	146	158	170	+24	+16.4%	
為替レート(円/US\$)	79	87	99			
国産ナフサ価格(千円/KL)	55	60	65			

営業利益増減要因分析（前年同期比）

【12年度上期→13年度上期】



	12上	13上
円レート (¥/\$)	79	99
国産ナフサ (千円/kl)	55	65

②BS

	12/3末	13/3末	13/9末	(億円) 13/3末比 増減
総資産	4,378	4,474	4,465	-9
うち棚卸資産	776	710	726	+16
純資産	1,477	1,555	1,605	+50
自己資本	1,306	1,380	1,430	+50
(自己資本比率)	29.8%	30.8%	32.0%	
有利子負債	1,549	1,594	1,525	-69
D/E レシオ	1.19	1.16	1.07	

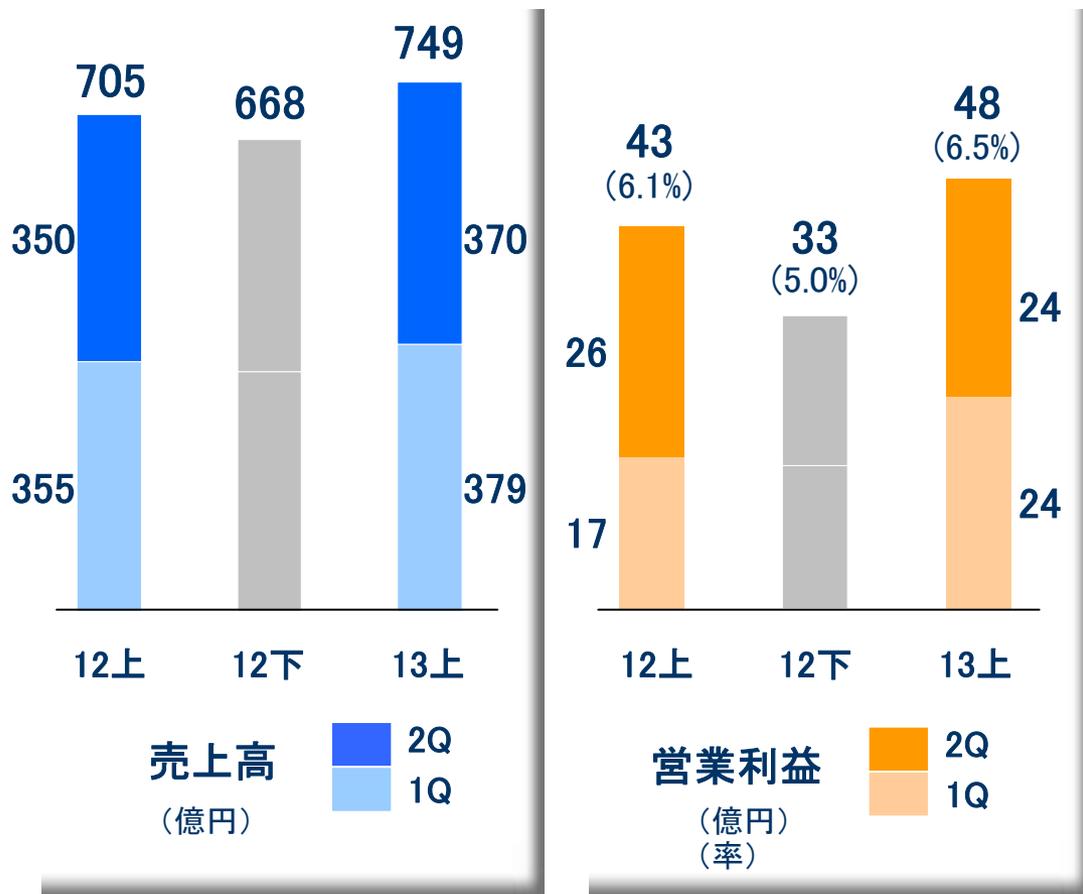
(2) セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			前年同期比 (率)
	12上	12下	13上	12上	12下	13上	
フィルム・機能樹脂	705	668	749	43	33	48	+12.2%
産業マテリアル	350	368	347	26	29	23	-9.3%
ライフサイエンス	126	122	131	16	26	26	+63.8%
スペシャルティ計 (率)	1,182	1,159	1,226	85 7.2%	88 7.6%	98 8.0%	+15.3%
衣料繊維	408	384	397	-5	7	18	
不動産・その他	121	136	121	12	15	14	
消去・全社	-	-	-	-16	-15	-17	
合計	1,711	1,679	1,745	76	94	113	+47.6%

① フィルム・機能樹脂

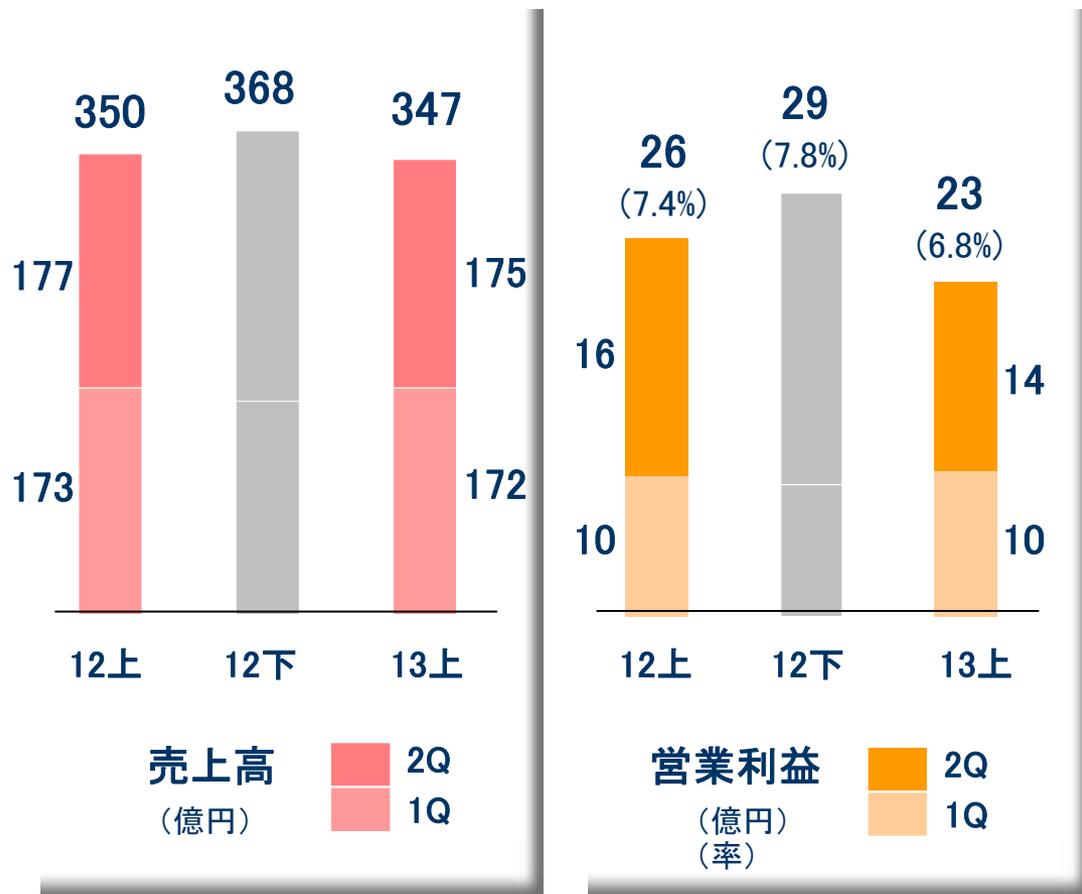
工業用フィルムは液晶用途がやや回復
 包装用フィルムは価格改定遅れにより苦戦



- **工業用フィルム**
 - ・スマホ、タブレット向けが堅調に推移
 - ・SRFはユーザー評価進む
- **包装用フィルム**
 - ・天候不良により食品用で需要低迷
 - ・2Q末より秋需もあり回復傾向
- **機能樹脂**
 - ・“バイロン”は中国向けが苦戦
 - ・海外自動車向け、好調に推移

② 産業マテリアル

エアバッグ堅調、生活産業資材は好調
機能フィルターは苦戦続く



● 自動車用途

- ・エアバッグは北米中心に堅調
- ・タイヤコードは計画通り生産終了

● 生活産業資材

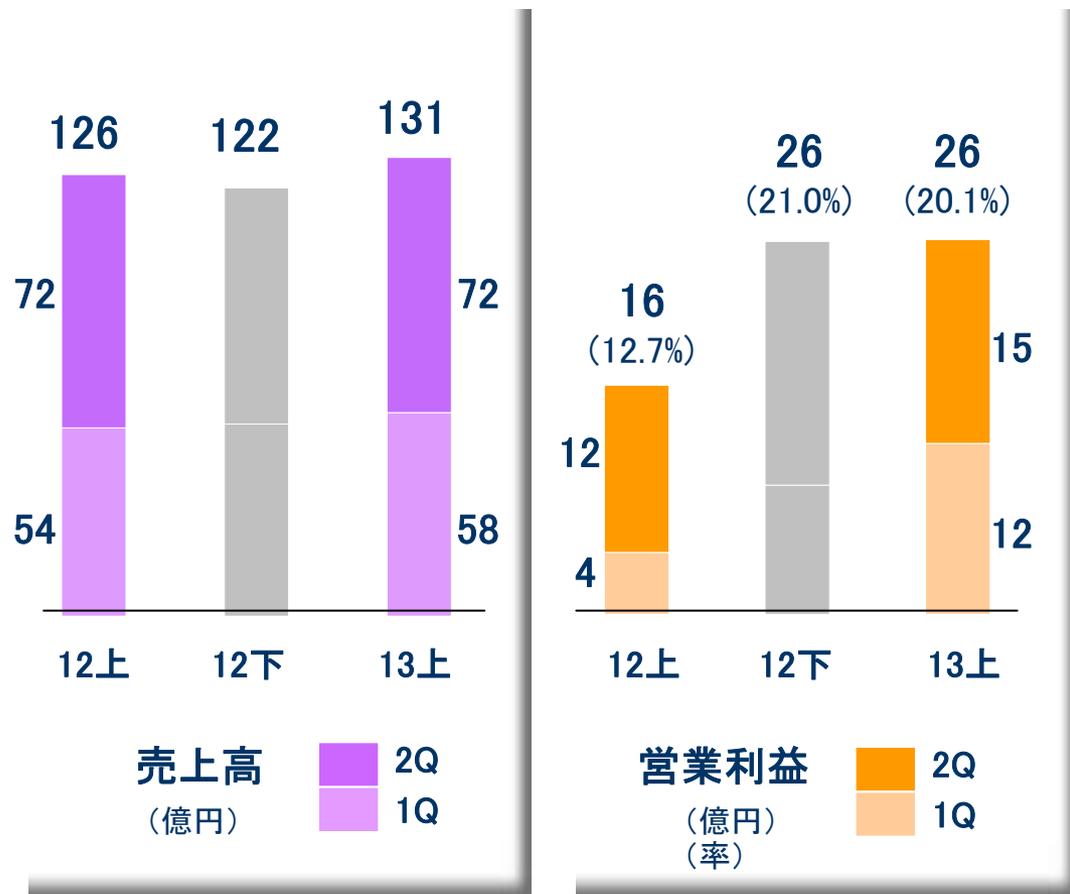
- ・機能性クッション材が好調
（“ブレスエアー”）

● 機能フィルター

- ・VOC*処理装置がアジアで遅れ
*揮発性有機溶剤
- ・事務機器用などフィルター数量減

③ ライフサイエンス

診断薬用酵素、医薬が好調 “ナーブリッジ” 保険適用開始



● バイオ

- ・診断薬用酵素が国内外で好調
- ・円安も貢献

● 医薬・医療機器

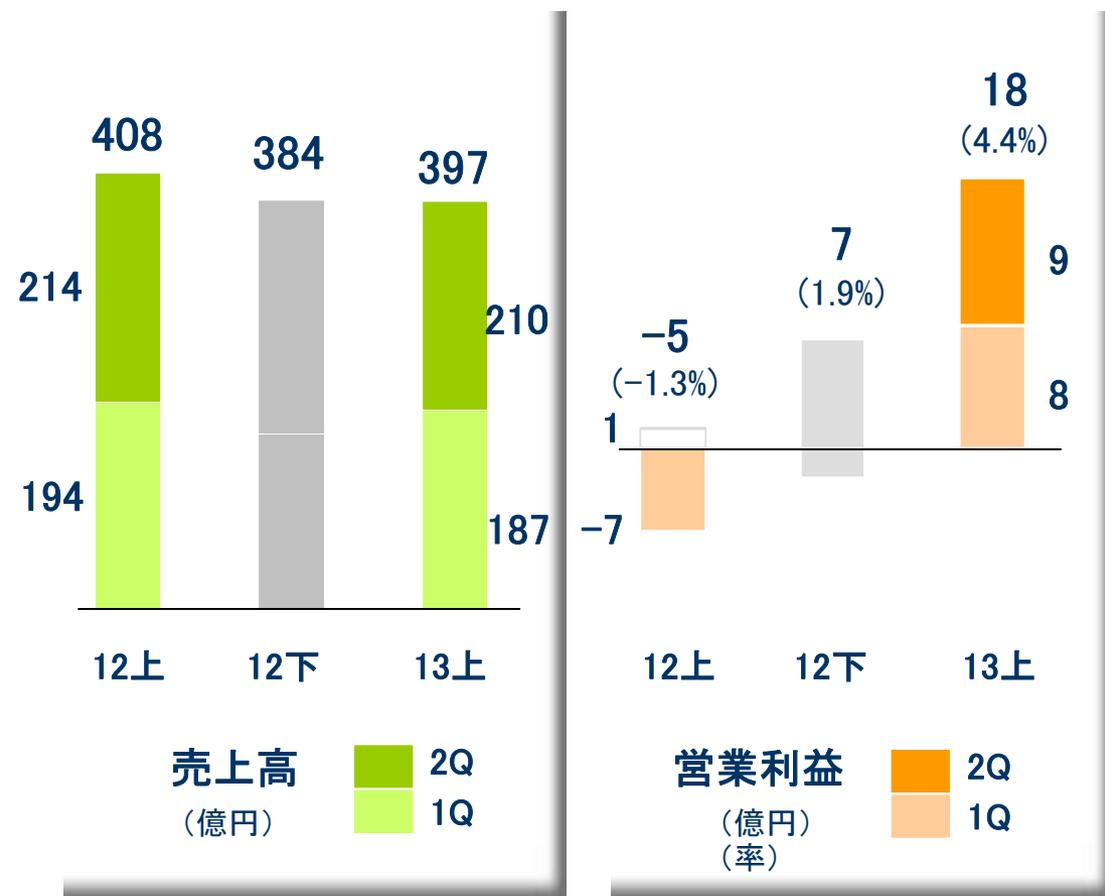
- ・医薬品製造受託は新設備が稼動
- ・“ナーブリッジ”の本格販売開始

● 機能膜

- ・アクア膜は新規、交換ともに出荷順調

④ 衣料繊維

為替影響により、スポーツ製品は収益悪化、
中東向けは大幅改善



● 東洋紡STC

- ・中東向けトープは数量も堅調
- ・スポーツ製品は海外生産品のコストアップで苦戦

● アクリル繊維

- ・中国向けが堅調で円安も貢献

Ⅱ. 2013年度業績予想

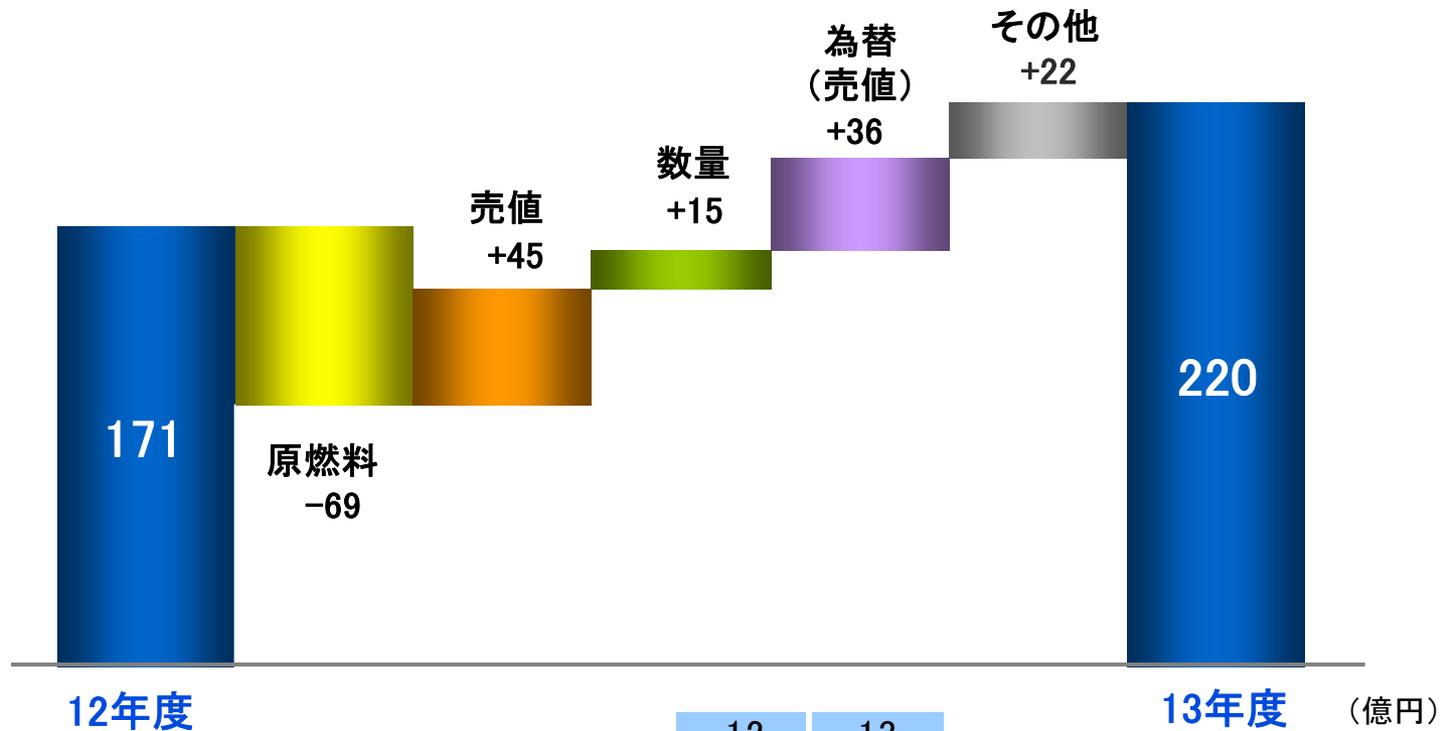
(1) 業績予想

(億円)

	12年度実績	13年度予想			増減	
		上	下		金額	率
売上高	3,390	1,745	1,755	3,500	+110	+3.2%
営業利益	171	113	107	220	+49	+28.8%
(率)	5.0%	6.5%	6.1%	6.3%	-	-
経常利益	155	108	87	195	+40	+25.6%
当期純利益	76	52	43	95	+19	+24.4%
EPS(円)	8.6	5.8	4.9	10.7	-	-
減価償却費	132	68	72	140	+8	+5.7%
設備投資	180	110	70	180	-0	-0.2%
為替レート(円/US\$)	83	99	97	98		
国産ナフサ価格(千円/KL)	58	65	68	67		

営業利益増減要因予想

【12年度→13年度】



	12	13
円レート (¥/\$)	83	98
国産ナフサ (千円/kl)	58	67

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高				営業利益			
	12年度	13年度予想			12年度	13年度予想		
		上期	下期			上期	下期	
フィルム・機能樹脂	1,374	749	741	1,490	76	48	48	96
産業マテリアル	719	347	363	710	55	23	28	51
ライフサイエンス	248	131	139	270	42	26	28	54
スペシャルティ計 (率)	2,341	1,226	1,243	2,470	173 7.4%	98 8.0%	103 8.3%	201 8.1%
衣料繊維	792	397	393	790	2	18	8	26
不動産・その他	257	121	119	240	27	14	12	26
消去・全社	-	-	-	-	-31	-17	-16	-33
合計	3,390	1,745	1,755	3,500	171	113	107	220

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社